

施設所在地	東京都江東区大島5丁目30-12
施設名	HOPPAおおじまタウン

### 1 活動のテーマ

〈テーマ〉

野菜

〈テーマの設定理由〉

食事の場面で「どうやって野菜ができるのかな?」「育ててみたいな」の子どもたちの声、また食育も絡めて野菜についての興味を深めていきたくかったため

### 2 活動スケジュール

7～9月：夏野菜栽培（3歳児トマト・4歳児オクラ・5歳児きゅうり）。

9月～：収穫。やさいスタンプ。

12月～：きのこ栽培（しいたけとエリンギ）。収穫。  
きのこの乾燥。水戻し。きのこスタンプの製作。

1月～：きのこ栽培（えのき）。電子黒板の使用。

3月：えのき収穫。きのこのスタンプ。えのき乾燥。霧吹きによる水戻し。

### 3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

【道具】土・プランター・苗（トマト・オクラ・きゅうり）・きのこ栽培セット（しいたけ・エリンギ・えのき）えのぐ・筆・パレット・画用紙・電子黒板 【環境】庭・玄関先・クラス 子どもたちが見えやすい位置を工夫して実施。きのこは保護者の方も見えやすい位置において実施。

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

7～9月：夏野菜を育ててみよう 3歳児トマト・4歳児オクラ・5歳児きゅうり

9月～：収穫。収穫した野菜を使つてのやさいスタンプを行い、製作活動実施。

12月：子どもたちの声（「きのこはどうやって育つの？」）よりきのこ栽培をスタート。  
きのこ第一弾…しいたけとエリンギ。育つ期待を持たせるため、何が出来るかは秘密。育つまでにどんなきのこがあるのかも食育と絡めて実施。しいたけ、エリンギが随時育ち、収穫。  
収穫後のきのこを乾燥させ、観察。水戻し実験を行い、どうなるかを観察。絵の具を使用してのきのこスタンプ実施。

1月～：きのこ第二弾…えのき栽培を開始。前回同様、成長する迄かは秘密。電子黒板を使用してのきのこクイズを楽しむ。黒板の機能を使ってきのこを調べたりもした。

3月：えのき収穫。きのこのスタンプを行い、しいたけとの形の違いに気づく。えのきの乾燥を実施し、霧吹きを使用しての水戻した。乾燥させたえのきを霧吹きで水戻しさせると「やわらかくなった」「においがするようになった」という子どもも聞こえた。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

夏野菜の栽培の時は、「水を上げたら大きくなるかな」「なんかにおいするな」等と言いながら成長に期待する子が多かった。暑さゆえに育つたのはオクラのみであったが、「星のかたち」等切り口に興味を持つ子もいた。過去の経験から、「スタンプをしたい」という声もあり、収穫後にオクラをスタンプにも使用。食事の場面で、野菜に興味を持ち始め、「きのこも育ててみたい」という声があり、キノコ栽培を開始。成長した際に、きのこの種類を発表するとしたので、子どもたちはよく観察。小さいサイズのものは「しめじ?」「こうなっているからしいたけ?」と日々の観察をよくしていた。保育者とも保護者様とも会話が増えていた。しいたけとエリンギ栽培後は夏野菜同様スタンプを行った。形の違いが判るよう、話を広げた。えのき栽培では、ブラウンえのきであったため、「洗ったら白くなるかも」という意見もあった。乾燥させたえのきを霧吹きで水戻しさせると「やわらかくなった」「においがするようになった」という子どもも聞こえた。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

ほんの小さな一言から始まった野菜がテーマのすくわくであったが、どうやったら野菜が大きく育つのかを話し合う姿や、形に着目したりする様子が見られた。途中枯れてしまった野菜もあったが、「暑かったから水が足りなくなったのでは?」と自分の考えを述べる機会も増えた。きのこ栽培に関しては、調理も保護者様も交えて、楽しく観察することができた。数種類のきのこを順に育て、またナニノきのこを隠して育てたことで、きのこの種類を知ったり、きのこの様子から想像してみる様子が見える。わかりやすいものだったので、幼児だけでなく、乳児も観察することができている。水戻しの実験もできたことはよかった。子どもたちの声をしっかり広い、次回のすくわくも子どもたちと楽しみながら行いたい。